



2 JAPAN REGION

Volume 25
January 2007

目 次
Table of Contents

日本リージョン会長挨拶The President's Message	1
第25期日本リージョン年次大会ご案内Invitation to the 25th Japan Region Annual Conference	2
大会プログラムのご案内Guide to Programs	3
大会プログラム予定表Program Plan	4
教育セッション一覧表Educational Sessions	5
大会申し込み要領Registration	6
登録申込書Registration Forms	7
大会準備委員会名簿Annual Conference Committee	9
J T B からのご案内Guide from JTB	10
宿泊・食事・交通申込書Reservation Forms	13
リージョン・カウンスル役員の集いRegion & Council Officers' Gathering	15
役員会取材Board Members On-the-Spot!	16
みんなの問題、みんなの悩みOur Issues & Worries	18
訪問したいクラブClubs We Want to Visit	20
会員の声Members' Voices	22
知っ得コーナーKnowledge Corner	15,17,22
ITC宣誓及び声明文ITC Pledge・Mission Statement of Japan Region	裏表紙

第25期日本リージョン会長挨拶

The President's Message

共に考え、共に進もう



第25期 ITC 日本リージョン会長 石本 美知子

新年明けましておめでとうございます。

2007年の年頭にあたり、会員の皆様方に心からお祝いを申し上げます。

さて、8月に今期日本リージョンは発足いたしましたものの、私自身は馴れない会長のお役に戸惑う毎日でしたが、まわりの皆様方のおかげで何とか半期が過ぎようとしています。

この間、私はいくつかのカウンシル例会やクラブ記念例会にも出席する機会を得ましたが、各例会のプログラムが以前にもまして充実してきていることを強く感じました。それぞれに個性豊かな素晴らしいプログラムが展開されていて、これぞ今期私たちが目指しているプログラムの向上であると今更ながらITCのメンバーの方々の方々の質の高さを再認識した次第です。

後半期には、スピーチコンテスト、リージョン大会等、沢山の新しいチャレンジが皆さんを待っています。これらの機会に会員の皆様方の更なる活躍と協力を期待しています。

Think TOGETHER, Advance TOGETHER

The 25th President of Japan Region **Michiko Ishimoto**

A Happy New Year!

At the beginning of the year 2007, I'd like to extend my new year greetings to you all.

Nearly half a year has passed since Japan Region made a smooth and good start in August. My deepest gratitude would be expressed to the members who have supported me whenever I was at a loss how to conduct my responsibility as President.

During this period, I've had great opportunities to visit Council meetings and Club Anniversaries. At every meeting I attended I felt very happy to find highly improved and inspiring programs characteristic of each council or club. That's exactly what I meant by the theme of this term: Improvement in quality of the program.

I again realized how excellent our ITC members are.

In the latter half, we'll have Speech Contests, Region Conference and other new challenging opportunities for us all.

I wish for your further cooperation and hope you'll be even more active.

第25回 日本リージョン年次大会ご案内

Invitation to the 25th Japan Region Annual Conference

大会テーマ：楽しむ

開催日：2007年5月28日(月)・29日(火)・30日(水)

場 所：JALリゾートシーホークホテル福岡



大会コーディネーター

江藤 玲子 (大分クラブ)

(写真左)

コ・コーディネーター

加藤 正枝 (岡山あくらクラブ)

(写真右)

『JALリゾートシーホークホテル福岡』

最上階の35階からの展望

第25回年次大会はアジアの玄関、国際都市「福岡市」で開催いたします。

大会テーマ「楽しむ」を、心と体で感じ、ITCに浸っていただけますようにと各委員会は、連携を密に、取り組んでいます。

心に残る楽しい思い出作りの晩餐会の一部をご紹介します。

まずゆったりしたお部屋で正餐スタイルのフルコースディナー、シェフは福岡の美味しい食材をお召し上がりいただけますように今から準備に余念がありません。

役員就任式に続いてのエンターテイメントは、「BIG BELL」若い男性二人による心に響く癒しのデュエットをご用意しています。

今期の日本リージョンのテーマ「共に考え、共に進もう」と大会テーマ「楽しむ」を合言葉に、多くの会員、ゲストのご出席をいただけますよう、心よりお待ちしております。

*** ホークスタウン情報 ***

4階のホテルロビーから続く大空間は、「海・光・水」をテーマに、開放感あふれる新アトリウムとしてデビューしています。中のレストランは、地産地消をコンセプトに、安全で体に優しい食材にこだわっています。心と体の憩いのスペースで、くつろぎの空間になっています。

The 25th Japan Region Annual Conference will be held in the cosmopolitan city of Fukuoka, an entrance to Asia. Linking each committee closely, we have been engaged in preparing the meeting so that you'd be pleased with it to your heart's content under the Conference theme "Enjoy!" Let us invite you to some part of the banquet which will no doubt make your evening memorable. Formal dinner will be served in a relaxed atmosphere. The chef has already started preparing for the dinner with selected array of local delicacies of Fukuoka. After Installing Ceremony will be an entertainment time of a young male duet of singers "BIG BELL", which will give you a healing time. With Japan Region theme "Think TOGETHER. Advance TOGETHER" and Conference theme "Enjoy!", we're looking forward to welcoming as many members and guests as possible.

Information of Hawkstown

The large space which can be reached from the hotel lobby on the 4th floor has made its debut as the new atrium with the image of sea, light and water.

The restaurants inside will offer meals, which are safe and healthy to our bodies with the concept of "Be Local"

The area will heal us mentally and physically-----It is totally a relaxing space.

第25回 日本リージョン年次大会プログラムのご案内

プログラム・教育委員長 岡崎 祥子

日本リージョン第25期は会長テーマ「共に考え、共に進もう」のもと、短期目標の「クラブレベルの充実」に向けて、プログラム・教育委員会はその遂行のための一端を担うべき活動を模索しながら進めて参りました。ここに大会テーマ「楽しむ」が掲げられるにあたり、いよいよ大会プログラムの輪郭も絞られて参りました。

会員の皆様には、五感で大会のプログラムをキャッチして頂き、そして大会の大きな目的であります"知るを楽しんで"頂けますならば、当委員会と致しましてもこれ以上の喜びはございません。初めて九州で開催される大会です。存分にお楽しみ頂きたいと思っております。

特別講演

高樹のぶ子と浸るベトナム

～ あのSIA-DAYよ ふたたび ～

高樹 のぶ子 氏



高樹 のぶ子 氏

2007年5月30日(水) 10:15～12:10

SIA (サイア SOAKED IN ASIA) とは、作家 高樹のぶ子氏が、アジアの文学作品を読み、その作家と交流し、“アジアに浸る”ことで感じた世界を、様々な方法で発信する多彩なプログラムです。今アジアが熱いといわれる時代に、九州大学のプロジェクトであるSIA-DAYの中から、ベトナム編についてご講演をお願い致しました。

生きる根源にもふれる問題を、現地で撮影された映像を見ながら、皆様とご一緒に考えてみましょう。

〈プロフィール〉 高樹 のぶ子 (九州大学特認教授・作家)

「光抱く友よ」で戦後生まれの女性として初めての芥川賞受賞。

「水脈」で女流文学賞、「透光の樹」で谷崎潤一郎賞。男女の関わりを中心に人間心理の機微を物語性豊かに描く。映画化・ドラマ化、多数。

芥川賞、三島由紀夫賞、大佛次郎賞、野間文芸賞などの選考委員を務める。

2005年10月から九州大学アジア総合政策センター特認教授。

第25回 日本リージョン年次大会プログラム予定表

ITC Japan Region 25th Annual Conference Program Plan

JALリゾートシーホークホテル福岡

JAL Resort Sea Hawk Hotel Fukuoka

5月28日(月) May 28 (Mon.)

12:00~12:30	受 付	Registration
12:30~13:30	昼 食	Lunch
13:30~15:00	カウンスル運営研修会	Council Management Training
15:00~16:30	TPP (トレーニング パワー パック)	Training Power Pack

5月29日(火) May 29 (Tues.)

8:30~ 9:45	登録受付	Registration
9:00~ 9:45	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:00~10:50	入場、開会式	Opening Ceremony
10:55~12:10	ビジネスセッション・選挙	Business & Election
12:10~13:00	昼 食	Lunch
13:00~15:10	スピーチコンテスト (英語)	Speech Contest (English)
15:10~	選挙結果発表	Election Report
15:20~16:50	教育セッション (5部門)	Training Sessions (5 parts)
17:40~18:00	晩餐会受付	Banquet Registration
18:00~	晩餐会開会	Opening
18:20~19:50	晩 餐	Banquet
19:50~20:20	インスタレーション	Installation
20:20~21:00	エンターテインメント	Entertainment
21:00	終 了	Adjournment

5月30日(水) May 30 (Wed.)

08:30~09:00	登録受付	Registration
09:00~10:00	ビジネスセッション	Business Session
10:15~12:10	講 演	Lecture
12:10~13:00	昼 食	Lunch
13:00~15:30	スピーチコンテスト (日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:30~15:50	表 彰	Awards
15:50~16:15	報告・案内	Reports
16:15	閉 会	Adjournment
16:30~18:00	評価・RMT	Evaluation & Region Management Training

教育セッション一覧表

5月29日(火) 15:20~16:50

①プロフィール ②内容

<p>A 「タロ・ジロ、オーロラ」 講演</p>  <p>北村 泰一 氏</p>	<p>①九州大学名誉教授、日本南極観測隊第1次・第3次越冬隊、九州大学日中合同コシリ探検隊副隊長、グリーンランド冒険旅行案内人、第1~3回南極半島冒険旅行案内人、カナダ・準北極・オーロラツアー案内人</p> <p>②日本人が最初の越冬隊を地の果て南極へ送って50年になる。今残っているのは11人中、3人だけである。私は犬・オーロラ係りであった。犬は獯猛で体重50kg。小熊のようであった。これしかないと思われ、棍棒を渡された。しかし、一緒に生活している間に、彼らの力を最大に引き出すには、棍棒よりも“心”ではないかと気がついた。確信する事件がいくつも起こった。犬にも心があり、誇りも自尊心もある。これが私の最大の発見であった。</p>
<p>B 「文章作法」</p>  <p>高橋 一清 氏</p>	<p>①松江観光文化プロデューサー、前文藝春秋第一編集長 文藝春秋<<特別版>>編集長</p> <p>②文章を書いて欲しいと求められ、「何を書こうか」と思案するのは誰も同じです。文章を書いていて、思っていることがなかなか書き表すことができず、もどかしさを覚えるのも、やっと仕上げた文章を見て、「もっと上手に書けたらいいな」と思うのも、誰も同じです。小説家の方々とて、同じです。文藝春秋での38年間の編集者生活は、文筆家と文章をめぐって苦楽を共にする毎日でした。そうした中で知った文章作法のあれこれを紹介します。みなさんが、これから文章を書くときのヒントとなれば幸いです。</p>
<p>C 「人形師 中村信喬の世界」</p>  <p>中村 信喬 氏</p>	<p>①博多人形師、日本工芸会正会員、九州産業大学芸術学部芸術工学科 講師 日本伝統工芸展、日本工芸会賞、文化庁長官賞など、数々の賞を受賞。</p> <p>②～人形 ひと、かたち、こころ～ 人形を通じて何を人にあたえるか？ 何のために人は生まれその仕事に就くか？ 人形を作り続けて 作る側のあり方と様々な人を観察することで何が最も大切であるのか？ 縁が向こうからやってくる。</p>
<p>D 「変化したITCの教育を 識るチャンスです！」 ワークショップ</p>  <p>泉 和子 会員</p>	<p>①国際任命役員 日本代表、FITC、カウンスルNo.2 阪神クラブ</p> <p>②ITCは、ここ数年の間に行った運営や活動方針、教育方法等の変革の中で、教育の基本となるようITC独自の“Power Talk ITC”を開発し定着させ、その上会員にとっていわば教科書である“Master Manual”を全面改正し発表しました。それらの基本的な使用法は既に習得済みの会員が多いでしょうが、まだ、これらを有効に使うにはどうすれば良いかと思案中の会員がいましたら、“Power Talk ITC”と新“Master Manual”を融合させながら、プレゼンテーション実行の中で、一緒に勉強してまいりましょう。</p>
<p>E 「議事法をあなたのものに」 ～めちゃくちゃロバート～ ワークショップ</p>  <p>チーム代表：沖田 道子 会員</p>	<p>①カウンスルNo.4プログラム・教育委員会 委員長沖田道子およびメンバー</p> <p>②ITCの4つの目的のひとつに、「効果的な会の運営法を学ぶ」とあります。ITCにおいて議事法を学ぶ意義は大きいのです。小さなグループに分かれて、楽しく賑やかにワークショップを行います。</p> <p>(1)「めちゃくちゃロバート」のスキットを使って、すべてのレベルに通じるクラブビジネスを見直してみましよう。</p> <p>(2)ピンゴやゲームで議事法に親しみながら、議事法の知識の step up を図ります。</p> <p>“さあ、あなたも議事法のリーダーです。” <<お奨めプログラムより>></p>

* 今期、教育セッションは7頁の「①大会登録・食事 ②教育セッション 申込書」に第1、第2希望をアルファベットで記入して申し込んで下さい。

第25回 日本リージョン年次大会申込要領

第25回リージョン年次大会は、今期初めて、パソコンによるネット画面操作で、登録関係全ての申込を行っていただく事になりました。

従来の要領と異なった点が多くありますが、会員の皆様はじめ、特にクラブ会長、CLO、会計には深いご理解をいただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

会員は

1. 7ページ『申込書』の「①登録、昼食及び晩餐会、欠席協力金」「②教育セッション」に必要事項を記入し、クラブCLOに提出し、諸費用をクラブ会計にお渡しください。
2. 13ページのJTB関係『申込書』の「③宿泊、交通、夕食・観光、夕食、エクスカーション」についてはJTBからの案内と注意事項を確認し、必要事項を記入した上で、クラブCLOに提出し、諸費用をクラブ会計にお渡しください。

(注意事項)

1. 役職名はリージョン役員、リージョン常任委員長、リージョン特別委員長、リージョン元会長、各レベル会長、リージョン派遣員、派遣員代理の方は必ず記入してください。
上記以外の役職は記入しないでください。
2. 重複会員はITC会費を納めているクラブから登録してください。
※ 重複会員は1名分の扱いで可(リージョン会則 常規3 参照)
3. ゲスト申込は紹介者氏名、カウンスル名、クラブ名を必ずご記入ください。
4. 「②教育セッション」申込は第1希望、第2希望をアルファベットで記入してください。
希望人数により、第2希望になることもありますのであらかじめご了承ください。
5. 大会1日目のCMT、2日目の晩餐会のみ出席の方も、ゲストを除き登録費が必要です。
6. 欠席の方(賜暇会員を含む)は、協力金をお願いします。
7. 2007年4月25日(水)以降の「①登録、昼食及び晩餐会、欠席協力金」の取り消しは、返金できません。

クラブCLOは

1. 2月初旬にJTBからパソコン上で「登録画面」と「記入方法案内」が配信されます。
役員会便りNo.6(1月下旬予定)記載の「申込手順と記入方法」と併せてよくお読みいただき「登録画面」に必要事項を記入し、**2007年3月30日(金)**までに、ネット画面において申込操作を行ってください。
2. 「①登録、昼食及び晩餐会、欠席協力金」の取り消しや追加等の変更の締切り日は、**4月24日(火)**です。
尚、その後の変更も、大会直前まで速やかに随時パソコン上の「登録画面」から必ず行ってください。
3. 会員からの「申込書」はクラブCLOが保管してください。

クラブ会計は

1. 振込み人欄に カウンスルNo.とクラブ名 を記入してください。
2. 「①登録、昼食及び晩餐会、欠席協力金」「③宿泊、交通、夕食・観光、夕食、エクスカーション」の費用を下記のJTB口座に振込手数料を差し引いて振込んでください。
3. 振込み期間は、2007年4月25日(水)～5月2日(水)です。期間厳守でお願いいたします。

三菱東京UFJ銀行 千代田支店
普通 5444837
名称 (株)JTB西日本

第25回 日本リージョン年次大会準備委員会名簿

2007年 5月28日(月) 29日(火) 30日(水)

大会コーディネーター 江藤 玲子(大分)

コ・コーディネーター 加藤 正枝(岡山あくら)

委員会	委員長(クラブ)	委員(クラブ)
大会会計	松下 法恵(徳山)	小田ぎんこ(徳山)
登録	小田 和子(豊中)	平井 典子(豊中) 溝田 泰子(福岡)
食事	森 和子(福岡)	安倍 宏枝(福岡) 原澤 達子(福岡) 今村 幸子(福岡)
		溝辺美紀子(福岡) 村本 和子(福岡) 田代登代子(福岡)
会場・備品	伊達 富子(福岡)	古賀比登美(福岡) 向井 悦子(福岡) 中垣 律子(福岡)
		白水美津代(福岡) 武田 香代(福岡) 富松香余子(福岡)
		山本三保子(福岡)
デコレーション	佐伯 尚子(大分)	安藤 絹枝(大分) 東浦真喜子(大分) 三井 洋子(大分)
		三浦 昌子(大分) 溝部 佳子(大分)
名札・リボン・キット	塚崎 彰子(九州)	穂吉 節子(九州) 工藤美智子(九州) 加藤 照恵(福山)
		児玉 晴代(福山) 米門 公子(福山) 倉田 真澄(福山)
		武田 綾子(福山)
儀典	片山 一子(九州)	田中 幸子(九州) 藤田 令子(ひろしま) 石崎 慶子(ひろしま)
		鴉田 孝子(ひろしま) 前田 利子(ひろしま) 成定 正子(ひろしま)
VIP接待	佐山 昌子(岡山)	杉谷 和代(イースト神戸) 出原 祐枝(福山) 豊田 麗子(福山)
		西村 敏子(大分) 十河 尚子(梅田)
ホスピタリティー	大野加津子(九州)	小野 芳子(九州) 土田美奈子(九州) 黒瀬 智子(岡山)
		黒住 祥重(岡山) 佐藤 幸枝(岡山) 繁森 明美(岡山)
		青木 和恵(安芸) 中友 康子(安芸)
インフォメーション	橋本きくえ(大分)	更井 紀子(岡山) 和田 晴子(岡山) 畑山 英子(大分)
		本山 節子(大分) 鳥巢 裕子(大分) 杉村 千織(徳山)
		小谷真喜子(ひろしま) 皆川 迪子(ひろしま) 吉田瑠美子(ひろしま)
ペーシ	五十嵐起久代(岡山)	石野 富子(岡山) 川崎 邦子(岡山) 黒住 裕子(岡山)
		寺岡 倫子(岡山) 時光 育子(岡山) 河辺 佑子(安芸)
		佐藤 千恵(岡山あくら) 寺岡 光子(岡山あくら) 土佐 伸子(岡山あくら)
		板谷 洋子(瀬戸内)
写真	山崎 文恵(ひろしま)	河尻 公子(ひろしま) 豆田ハルミ(大分) 油布 雅子(大分)
		深本 晴美(岡山あくら) 原 順子(岡山あくら) 山本 映子(尾道)
広報	重松万喜子(福岡)	村田三恵子(福岡) 中山みな子(福岡)
観光	中村 澄子(福岡)	井上 弘子(福岡) 坂口実嘉子(福岡) 田中美佐子(福岡)
		津留 能子(福岡)
受付	永嶋 順子(九州)	林 妙子(九州) 亀山亜左子(九州) 西村 節子(九州)
		藤岡 敬子(ひろしま) 安東 敦子(大分) 藤井 禮子(瀬戸内)
		服部 英子(瀬戸内) 久一 公子(瀬戸内) 石黒 慶子(瀬戸内)
		南 久美子(瀬戸内) 村上 慶子(瀬戸内) 斎藤 恵子(瀬戸内)
		住貞 文子(瀬戸内) 武市 福美(瀬戸内)
エンターテイメント	太田 恵子(ひろしま)	坪島奈美江(ひろしま) 吉岡 裕子(ひろしま)
物品販売	平地 桂子(瀬戸内)	金子三屋子(福山) 光成 史子(福山) 前原 淑枝(岡山あくら)
		槇野 眞理(岡山あくら) 池田 恭子(瀬戸内)

JTBからのご案内



第25回日本リージョン年次大会に際し、JTBから「宿泊、交通、観光・夕食、夕食、エクスカージョン」を準備いたしました。是非ともご利用いただきますようお願い申し上げます。

宿泊 ③-1

JALリゾートシーホークホテル福岡

〒810-8650 福岡市中央区地行浜 2-2-3
Tel: 092-844-8111 Fax: 092-844-7887
URL <http://www.hawkstown.com/hotel/>

記号	部屋タイプ	料金(お1人)	備考
H	シングルルーム (1名使用)	15,000円	・各日 共通料金 ・朝食・税サービス料込
I	ツイン又はダブル (1名使用)	19,000円	
J	ツインルーム (2名使用)	11,500円	
K	トリプルルーム3名 (3名使用)	10,500円	

交通 ③-2

航空機利用とJR新幹線を準備いたします。団体料金適用のため最小催行人数が15名以上となります。クラブ内でお誘い合わせのうえ、お申ください。

<航空機便> 運賃については未確定の為、役員会便り6号で、ご案内します。
(なお、各自で早割りをご利用いただくほうがお得な場合がございます)

L	往路	2007年5月28日(月)	羽田空港発(9:30頃)	福岡空港着(11:30頃)
M	復路	2007年5月30日(水)	福岡空港発(18:30頃)	羽田空港着(20:00頃)
N	復路	2007年5月31日(木)	福岡空港発(18:30頃)	羽田空港着(20:00頃)

<JR新幹線便> 往路 2007年5月28日(月) のぞみ1号・3号・7号の3便
「のぞみ1号、のぞみ46号」は福山には停まりません。ご注意ください。

O	のぞみ1号	名古屋……京都……新大阪……新神戸……岡山……	広島……博多着
		7:40 8:17 8:32 8:46 9:18	9:53 10:55
P	のぞみ3号	名古屋……京都……新大阪……新神戸……岡山……福山……	広島……博多着
		8:03 8:41 8:58 9:11 9:45 10:02 10:27 11:37	
Q	のぞみ7号	名古屋……京都……新大阪……新神戸……岡山……福山……	広島……博多着
		8:57 9:35 9:51 10:05 10:38 10:55 11:20 12:30	

復路 2007年5月30日(水) 大会終了後時間に合わせた便

R	のぞみ48号	博多……広島……福山……岡山……新神戸……新大阪……	京都……名古屋着
		17:49 18:59 19:25 19:42 20:15 20:28 20:45 21:23	

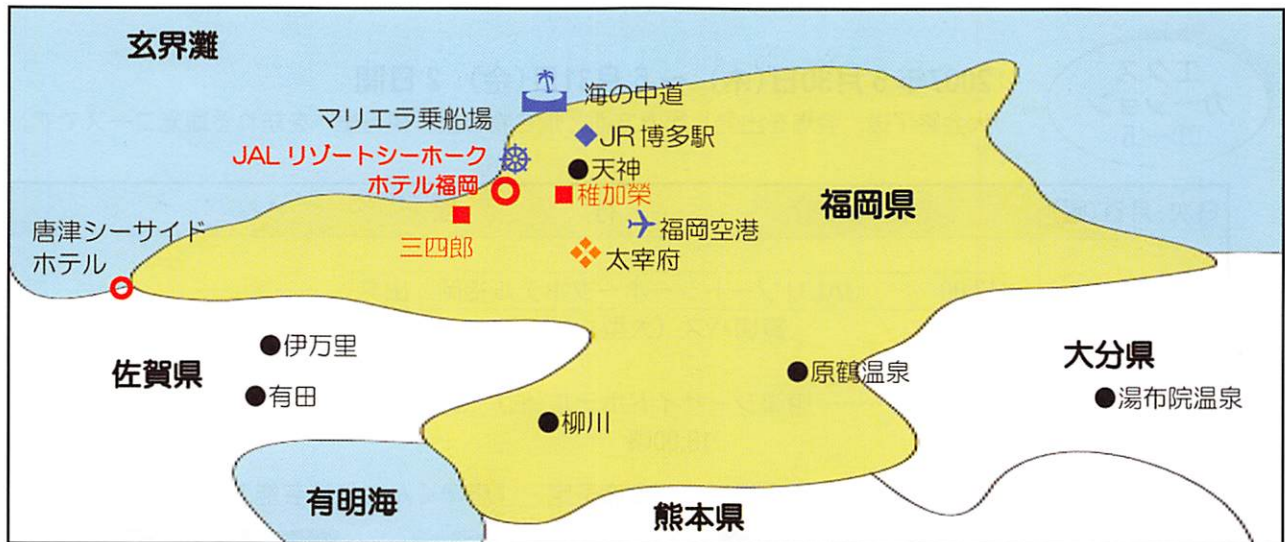
復路 2007年5月31日(木) エクスカージョン終了に合わせた便

S	のぞみ46号	博多……広島……	岡山……新神戸……新大阪……	京都……名古屋着
		17:22 18:28	19:04 19:38 19:51 20:07 20:45	

『JR新幹線 運賃料金表』 各駅 ⇒ 博多(片道乗車券・普通指定席)までのお1人運賃料金

あ	名古屋⇄博多	い	京都⇄博多	う	新大阪⇄博多	え	新神戸⇄博多
	16,800円		14,500円		10,000円		9,800円
お	岡山⇄博多	か	福山⇄博多	き	広島⇄博多		
	9,000円		8,000円		6,500円		

* 2007年3月に春のダイヤ改正実施後は列車名とダイヤに多少の変更が予想されます。



観光・夕食
プラン
③-3

2007年5月28日(月) 14:00~21:00

大会1日目の午後に観光と夕食をセットにした観光・夕食コースです。

※ 最少催行人数は25名以上とさせていただきます。

※ シーホークホテルより観光バスにてご案内致します。添乗員同行いたします。

- (イ) 「柳川」川下りと“御花”夕食コース お1人 16,000円
詩人北原白秋がこよなく愛した水郷柳川の川くだりが楽しめます。水郷めぐりの後、「北原白秋記念館」を見学。夕食は、旧柳川藩主立花家の別邸だった“御花”にて鰻のせいり蒸し料理をご賞味ください。大正時代の光景が楽しめるコースです。
- (ロ) 太宰府天満宮と鶴飼い見学コース お1人 15,000円
学問の神様“太宰府天満宮”に参拝。原鶴温泉“泰泉閣”では、旬の鮎料理をご用意し、ご希望の方は温泉に入浴できます。その後筑後川の夏の風物詩「鶴飼い」を屋形船で見学する盛りだくさんのコースです。
- (ハ) 志賀島とマリンワールド海の中道コース お1人 14,000円
「漢倭奴国王」と書かれた金印が発見された志賀島へご案内。その後、マリンワールド海の中道の「海の科学館」においてイルカショーをご覧いただきます。夕食はシーフードレストラン“八点鐘”にて福岡市街の素敵な夜景とフレンチをお楽しみください。

夕食プラン
③-4

2007年5月28日(月) 18:00~21:00


大会1日目の夕食プランは博多で有名な食事場所を厳選致しました。

「シーホークホテル」内のレストランもお勧めします。

- (ニ) 博多活魚料亭“稚加栄”コース お1人 8,000円
壮大な生簀が自慢の料亭です。新鮮な海の幸をたっぷり味わってください。稚加栄の辛子明太子も有名です。是非お楽しみください。(料亭へは各自移動ください)
場 所：福岡市中央区赤坂2-2-17 TEL 092-721-4624
- (ホ) レストランシップ“マリエラ”コース お1人 7,000円
船上から博多湾の夜景を楽しみながら優雅なディナークルーズです。ご夕食はフレンチコースメニューとなります。季節の素材を取り入れたフルコースをお楽しみください。(埠頭集合)
乗船場：福岡市中央区ベイサイド博多埠頭 TEL 092-751-7171
- (ヘ) 活魚料理“三四郎”コース お1人 6,000円
活き魚会席料理の店として地元でも有名な料亭です。(料亭へは各自移動ください)
場 所：福岡市西区愛宕3丁目1-6 TEL 092-881-3001

2007年5月30日(木)～5月31日(金) 2日間

大会終了後、会場を出発し唐津方面と焼き物の里“伊万里”を訪れる観光コースです。

日次	月日(曜)	行 程
①	5/30 (水)	<p>17:00 JALリゾートシーホークホテル福岡 出発 貸切バス(大型)</p> <p>ホテル…………唐津シーサイドホテル(泊) 到着後:ホテルチェックイン 17:00 18:00頃</p> <p>19:00～21:00 宴会場にてご宴席予定 「唐津くんち伝統芸能」の観賞</p> 
②	5/31 (木)	<p>貸切バス(大型)</p> <p>ホテル…………舞鶴公園/唐津城(車窓観光)…………… 09:00</p> <p>…………伊万里/大川内山見学…………(昼食)…………有田/九州陶磁文化館…………</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>*江戸時代の佐賀鍋島藩の御用窯として栄え、将軍家や朝廷に献上する高品位の焼物が焼かれ、「鍋島様式」として確立し32軒の窯元が立ち並ぶ秘窯の里で有名です。「伊万里焼」の里でショッピング予定。 <ボランティアガイド案内予定></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>*日本磁器発祥の地として知られ江戸時代からの老舗窯元が現存する町で有名です。 <九州陶磁文化館館長 講演会予定></p> </div> </div> <p>…………福岡空港…………JR博多駅 16:30頃 17:00頃</p> <p>☆ご希望の方には、オプションで「湯布院温泉」に引き続いてお泊りいただくプランをご用意しています。直接JTBにお問い合わせ、お申込みください。</p>

旅行代金 (お1人の料金)	記号	(ト)	4名一室利用	32,000円
		(チ)	3名一室利用	35,000円
		(リ)	2名一室利用	39,000円

③-1～③-5の 条件の詳細<<ご旅行行程・取り消し手数料>>は
役員会便り6号(2007年1月下旬)にてご案内いたします。

(株)JTB西日本 大阪天王寺支店

お問い合わせ専用アドレス: osakatennoji_itc@jtb.jp

観光委員会は今回の企画に際し、地元のとおき情報をJTBに提案いたしました。
28日(大会1日目)には「観光・夕食プラン」に参加される方のご案内をホテル内でさせていただきます。又「夕食プラン」には委員が同行いたします。
九州ではじめてのリージョン大会です。観光委員一同心よりお待ちしております。

「リージョン役員とカウンスル役員の集い」に参加して

2006年12月6日(水) 於 京都タワーホテル

カウンスルNo.7 議会法規役員 秦野 順子 (米子クラブ)

例年のカウンスル運営研修会 (CMT) とは趣を異にして、研修資料には頼らない方法で、各カウンスルの現状・問題点などについて意見交換が行われました。

議会法規部門では、日頃質問や問題点などはメールを通じてリージョンに訊ねますが、それを全カウンスルで共有し、皆で共に考えようということになりました。また、メールには書けないような事柄も話し合うことができました。分科会終了後には、全体会で7部門すべての報告があり、今年は年次大会で素晴らしいプログラムに対して表彰もあるとの発表もあり、各カウンスル、クラブなどプログラム・教育の意識向上に功を奏すものと感じました。

ITCで今一番大きな関心事は会員減少問題です。それは、現会員を維持していくのは当然のこととして、加えて、新会員を発掘し獲得していかない限り高齢化の一途をたどり、未来がないということです。そのためには、魅力あるプログラム作り、ひいては社会に還元できるプログラム作りをし、プログラム・教育、会員、広報などの委員会が連携して活動に当たる必要性を強く感じます。組織の現状維持ではなく、もっと前向きに将来を見据えた活動が大切だと思うのです。ITCはその一つの部門のみで成り立つものではなく、お互いに関連し合い、総合的なものとして活動をしている組織です。そういう意味でも全部門の報告があったことは有益で、自分の役割のみならず、他部門、ひいては全体を知り、且つ考えるよい機会になったと思います。また、“Face to Face”で話し合いができたことも大変意義深く、またお互いの交流を深めることができました。

知 っ 得 コ ー ナ ー

選挙委員会委員長 豊川三千代

日本リージョン選挙委員会とは

日本リージョン年次大会において、日本リージョン次期役員ならびに指名委員の選挙はリージョン派遣員によって行われる。

- * これに先立ち派遣員の資格確認 (出席確認) を行う。(資格確認委員会)
 - * 資格確認をすませた派遣員に、投票用紙を手渡す。(選挙委員会)
 - * 派遣員へ選挙の手順を説明する。
 - * 投票場所は派遣員席の前方。
 - * ステージ下の中央に横長机と投票箱を用意する。
 - * 審議終了後、会長より選挙に入る指示があり次第、選挙委員会は投票箱を横長机上に設置し投票に立ち会う。
 - * 全ての派遣員が投票を終えたことを確認する。
 - * 議会法規役員立会いのもと、ただちに開票し集計する。
 - * 票数を選挙結果報告書に記入する。
 - * 選挙委員長は選挙結果を発表する。
- その他投票用紙、集計用紙、選挙結果報告用紙作成。

突撃！役員会

「私は見た。」 役員の素顔を・・・

「私だけかしら？リージョンの役員会ってどんなところ？と思っているの。」という思いから、役員会に突撃取材を行いました。

時は10月14日(土)、場所は大阪、難波の一等地にあるレストランです。緊張で顔を引きつらせてドアを開けると、予想に反して優しい穏やかな笑顔で迎えて下さいました。「まっ、そのうちピリピリして来るだろう」と内心思っていました・・・

何と先ず目に入ってきたのは“全国銘菓展”の始まりです。そうです、リージョン役員の皆様は全国から集まって来られるので、お菓子もデパ地下のようです。私も頂いて、役員会の好感度は早くも100%です。でも油断は禁物。さあ、今から始まります。

開会の11時！石本会長が開会を宣言しました。次から次に議案をこなし、采配をふるいます。石本会長のカッコいい事。雰囲気は柔らかいけれど、すごく内容は濃く、スピーディーでチームワーク抜群です。12時になると、あらかじめ注文をしておいたランチが運ばれて来ました。本日のメニューは、スパゲッティー、アメリカンクラブサンド、カレーライスです。さあ昼食タイム。この時とばかりに役員の皆さんに取材開始。時間も限られているのでオーソドックスに趣味とお得意料理を尋ねることにしました。

石本会長のソーシャルダンスはプロ並で、今サンバを練習中だそうです。石本会長の美脚と姿勢の良さは、ダンスからかしら？料理はちらし寿司、裏技として市販の「すしの粉」を使うとべとつかず良いそうです。

次期会長の加藤啓子さんは、ゴルフ、ブリッジ(カード)麻雀です。優雅な加藤さんからは、思いもかけないお答えでした。料理は洋食、家庭料理は簡単に作れるのが一番だそうです。

第一副会長の岡崎祥子さんは、米子駅、7：20発岡山行き電車に乗り、岡山から新幹線に乗り換



えて難波まで来られています。趣味は音楽鑑賞とミュージカル、料理は何でも得意との事です。体力、知力の漲っている岡崎さんです。

第二副会長の沢田郁さんは、登山が趣味。スラッとした容姿からは考えられない程の健脚の持ち主です。隣で石本会長が「沢田さんが、どんな山小屋も、平気で泊まれるなんて信じられへんね」と。本当にその通り。料理は洋食が得意との事。

書記の立花眞琴さんは、音楽鑑賞と読書が趣味。日本料理がお得意です。本当に全てに精通している立花さんでした。

会計の近本節子さんは福山駅、9：11発新幹線で来られています。趣味は食べ歩き、料理は何でもお得意です。趣味が実益につながっていて最高ですね。

そして議会議法規役員の中馬知津子さんの趣味は山歩きと茶道。煮物を作るのが好きとの事。議会議法規というお役は一番苦手とおっしゃっていますが、隣から「きっちり、正しく、正確を大事になさっています」との声が掛かりました。

役員会の皆様、気持ちよく取材を受けて下さって有難うございました。こんなに心地良い役員会とは夢にも思いませんでした。(ごめんなさい) さすがコミュニケーションを大事にしているITCだと改めて感激しました。



そして最後に「会報は、唯一会員に還元される物なので、大事にしましょう。」と激励を受け取材を終えました。役員会は今から午後の部。5時終了予定です。

最後に、石本会長からお聞きした“とっておきの話”を・・・

ある晩、会報の写真について、石本会長とご主人の会話・・・

ご主人「この写真、よー撮れてるな、詐欺やでこれ」
会長「次の(号)の写真見て(もっと)驚くな」
もう一つ。リージョン大会の打ち合わせの時、JTB(今期リージョン大会を担当)の人が、つくづく会報の写真を眺めてご本人と見比べたらしい。この話を聞いたみんなが、不思議と納得していたのがとても可笑しかった!

編集委員 海老原あかね

お知らせ — 事務局から

日本リージョン事務局長 泉 和子

第24期から、日本リージョンでは、監修者という役職を設置しておりますが、第25期にも、前期と同じようにこの役職を設置しました。ITC発行資料の翻訳物や改訂版資料見直し後の監修などが、この部署の業務内容です。日本語、英語全般を含み、それらの発刊時期や発刊方法などにも関連しながら業務を行ってまいりますので、この部署は事務局内に設けてあります。監修者は次の3名です。

奥田小夜子(錦クラブ) 高橋 和子(阪神クラブ) 泉 和子(阪神クラブ)

知 っ 得 コ ー ナ ー

リージョン予算・財務委員長 中野 知子

日本リージョンの殆どのクラブ、カウンスルの共通の悩みが、近年減収し続ける会費収入の中、もっと活発で実のある活動を繰り広げていきたい所にあるのではないのでしょうか。会報第一号に掲載の「第25期会計予算」を前期、前々期と比べながらよく見ていただくと皆様と同じ悩みの中、一つ一つの委員会の在り方と今後を考えて立てられていることが判っていただけだと思います。

予算は組織運営がどの方向に向かおうとしているのか、会員が求めているものは何なのかを、その都度、原点に戻り確かめ、その結果が形に示されたものです。IT機器の効率的な活用、拡大していく行動範囲など、大きな社会の変化に伴い変化する有効な会費の使い方、適正な会費について議論を深めることが必要だと思えます。

みんなの問題 みんなの悩み

歴史の長いクラブ、浅いクラブ、それぞれのクラブが抱える問題は時にはクラブの存続をも脅かすほど大きいものです。この問題を話し合ったカウンスルNo.6第1回会合、プログラムのモデレーター大野三恵子さんに内容をまとめて戴きました。皆様はいかがお感じになりますか？

パネルディスカッション とことんトーク 「聞かせてくださいあなたの声を」

モデレーター 大野三恵子(京都)

このディスカッションの目的は、カウンスルNo.6の各クラブが抱えている問題を取り上げ発表し、会員全体で考え、解決策を探ることにありました。これは、まさしく高木会長のテーマ「今をみつめて 未来への一歩を」を具体化したものです。

かかえている問題というのには一番に**クラブ会員の減少**です。それに伴う問題点としては組織の運営のあり方です。会員の心の中にある希望や、不満、解決策などを自由に出しながら、あくまでも前向きにディスカッションを進めました。一人の考えより、三人。三人より十人。十人より五十人。と多くの人の意見が集まれば、より幅の広い解決策が得られるのではないかという希望を持って。

ディスカッションに先立ち、午前中に**東京クラブ小林令様のお話**を伺いました。

カウンスルNo.8がカウンスル会合を2回にし、選出役員を4名に、常任委員会を3委員会に簡素化した理由とそれによるメリット・デメリットについて。

どうして東京クラブは常に会員が30名以上であるのか。等の現状報告の後にITCは教育機関であることが基本で、会員が自ら自分を磨き、学んでゆく姿勢が大切であり、参加し役割を受けなければ学べない。

又、無用な丁寧さの見直しは必要であるが、安易な簡素化は組織の発展や会員の利益に繋がらないと話されました。

午後からのディスカッションでは

まずはじめにカウンスルNo.6の各クラブの現実を知る為に、クラブを代表して出場した11人のパネリスト（クラブ会長又は第1副会長）から

- クラブの現状報告として 会員数・賜暇会員数・実動数
- 各クラブの問題提起
- 今後の自クラブの方向性

の三点について1人2分で予め準備された報告を行いました。

その後、モデレーターがパネリストに対して以下のような質問をし、パネリストのITCとのかかわりを知る参考にいたしました。

1. 貴女がITCをお知りになった、または入会されたきっかけは？
2. 今までにITCのことを人に話し、誰かを入会させられましたか？
3. 入会されてみて、最初に思われた印象はどうでしたか？
4. 入会されて、最初に思っておられたこととどう異っていましたか？
5. 貴女が入会しようと決められた目的は何でしたか？
6. 途中で退会を考えられたことはありますか？その理由はなんでしたか？
7. 貴女のクラブでの会員減少にどのような理由が考えられますか？
8. 今、クラブで負担に思われることは何ですか？
9. 会員の少ないクラブ間の統合を考えられたことはありますか？
10. カウンسلは必要だと思われますか？

その結果パネリストの忌憚のない答えは聴衆の共感を得ました。

パネリストがクラブを代表して発表した問題点を絞って取り上げてみると、

1. 会員の高齢化、両親の介護、仕事などのためITCのために十分な時間が取れない。
2. 会員数が少ない為多くの役割が当たり忙しい。
3. IT化についてゆけない。
4. スピーチコンテストが負担である。

これらの問題の一つ一つに対して、フロアその他カウンセルから参加の会員からも有意義な意見が活発に出されました。

これらに対する特効薬はありません。只、出来ない理由を探すより、出来る方法を考えなければ永遠に前には進めないことは事実です。

会合後に、各クラブで問題点を再検討し改善策をカウンセル第1副会長まで提出するという宿題が出されました。

ITCが他の団体と違うところは、自分が望んで学ぶ世界的な生涯教育の場であるということ。

単にスピーチの上達や、組織の運営、リーダーシップ、コミュニケーションの技術だけでなく、人とかかわりの中から、広く言えば生き方をも学んでいます。ITCの組織の中では、出来るか出来ないは別にして、人の役に立とうとする情熱、やってみようとする努力、そして何より大切なことは、楽しみながら自分の未知の世界に挑戦すること、そこではじめて達成感を味わうことではないでしょうか。人と人が「相互理解」と「やさしさ」と「信頼」で結びつくなら、それらはひいては「不可能なことも可能」にしてくれるでしょう。

約30年程前に現在のパソコンの普及を予測した米国のコンピューター学者アラン・ケイ博士は、今後の予測を求められた時に「未来は予測するものではなく自ら作り上げるものだ」と答えています。「未来を決めるのは、世界にただ一人あなたしかいない。」と。

ITCの未来を担うのは あなた なのです。

盛岡クラブ

盛岡クラブのある岩手県が「お人好しの県ランキング」(TV番組)で堂々の第1位に選ばれていました。何でも、名物「わんこそば」は、お客様をもてなす為の優しさから生れたのだそうです。

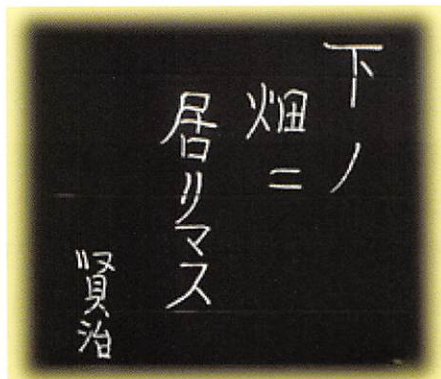
盛岡クラブのメンバーはもちろんのこと、岩手県人は、おおらかで皆親切！その県民性は、広大な海と山に囲まれた大自然に育まれたものとか……。総理大臣を4人も輩出したのに関係している？

『雨ニモマケズ』でお馴染みの宮沢賢治は、水と緑に満ちた美しい故郷を「イーハトーブ」と称え、岩手の風土を愛し続けたといえます。

東北新幹線・盛岡駅の一つ手前、新花巻駅傍には賢治ゆかりの施設(生家や記念館)があります。私のお薦めは、「宮沢賢治童話村」です。『銀河鉄道の夜』の駅舎を模した銀河ステーションのゲートから、一歩足を踏み入ると、賢治が夢見た遥かな宇宙へようこそ。時間を忘れファンタジックな世界に浸れます。

銀河への旅が終わる頃には、賢治に親しみを感じ、あらためて童話や詩を読みたいくなります。あっ！その前に『注文の多い料理店』山猫軒に立ち寄り、銀河ビールで喉を潤すのもいいかも……。理想郷「イーハトーブ」で、大自然の恵み・人の心の温かさにふれてみませんか。

菊池 陽子



飛騨高山クラブ

平成17年、高山市は近隣九町村と合併し、東京都とほぼ同じ大きさの日本一広い市となりました。見渡せば穂高岳、槍ヶ岳、乗鞍岳をはじめとする北アルプス、御岳、白山の山々に囲まれた広大な市域はその90%以上を森が占めています。飛騨という名前は、山が巒をなして連なることからという説がありますが、古くから高山の人々は、飛騨の豊かな自然から暮らしに必要なものをいただいて生きてきました。

大都会からの時間・距離が長いこと、自然の美



しさと厳しさが、この地に独特の暮らしと文化を残し受け継がれ守られています。そしてそれが大切な観光資源となって今や年間300万人を超す観光客が訪れます。

絢爛豪華な屋台が並ぶ高山祭、全国で唯一現存する江戸時代の陣屋、格子戸の続く古い町並み、歴史ある料亭、朝市に並ぶ清澄な高地特有の気象によって生まれる山菜きのこ、漬物、飛騨牛など、飛騨の匠による物作りの数々、

* Welcome to Hida Takayama, the home of the Japanese spirit. Here you will find majestic natural surroundings, and Japanese culture as it was in the good old days.

外国からの御客様も多く、古い町並みには様々な国の言葉が溢れています。そこにやさしいゆったりとした抑揚の飛騨ことばが行き交います。

私たちの一番の自慢、それはどこにも負けない市民の飾らない心からのホスピタリティです。

向井 節子

出雲クラブ

ITC会員の皆様、「巨大なもの」のお話に興味をお持ちですか？

出雲クラブのある出雲市（大社町）には、全国一の巨大な建造物が二つもあります。それをご紹介します。

一つは、出雲大社です。皆様、ご存じのように出雲大社の本殿は国宝です。平成12年4月に大社境内にある発掘現場から、3本の柱を束ねて1本にすると、直径3メートルにもなる巨大な柱が発見されました。これは、平安時代後期の本殿を支えたといわれており、日本中の話題になりました。

現在、本殿の高さは24メートル、神社では全国随一の高さを誇っていますが、言い伝えによると、古代の本殿の高さは48メートルあったといわれています。この発掘された巨大な柱は、平成19年に大社町にオープンする島根県立古代博物館に展示される予定になっています。

二つ目は、出雲大社から約10キロの地点に、日本一高い日御碕灯台があります。この灯台の魅力はなんといってもらせん階段を登った最上部の展望です。三方を海で囲まれた島根半島の全景、国引き神話の「杭」となった三瓶山、ウミネコの繁殖地「経島」等など、見下ろすことができます。

また、出雲地方には、神在月があり（旧暦の10月）全国から八百万の神々が集まれ、地域、親子、男女の縁結び等について神議（かむはかり）されるといわれています。皆様も、出雲大社の神様のご縁にあずかり、名物の「出雲そば」でも食べながら出雲路を楽しまれてはいかがでしょうか。

まっちゃんね！だんだん（お待ちしています。有り難うございました。）

中島 正子



会 員 の 声

少人数クラブのとりくみ

22人の会員から9人の退会者があり、今期13人というクラブチャーター以来の会員数で始まった26期、予想が深刻だったせいか思っていた程度の大変さ？を味わいつつ運営を続けています。

少人数での弊害は仕事が多くなる事、考え方が閉塞的になる事、会費の事が大きな点になります。この3つを解決する方法は唯一会員の増加ですが、これについての特効薬も即効薬もなく、対処療法のみです。そして対処療法としては、心と形からの2つ方法が必要です。都クラブとしては、クラブの現状を維持しつつゆっくりと増加に向けて会員の気持ちを高めていく事が大切な心の一つ。そしてもう一つは目的達成のために変化や改革を恐れないことです。形として仕事が多くなる点に関しては委員会の統合・合理化である程度の緩和が可能となりました。又、我がクラブには入会時と事情が変化し有職になった会員が3人、木曜日の例会出席が困難になりつつありました。社会との接点を持つ3人の会員の出席は閉塞感打破と活気を促す大きな力になり得るものでしたし、これから若い会員も確保していくべく例会日の変更を実施しました。この例会日変更で心と形の2つの効果が出てくる事を期待しています。そして願う事は、カウンスル・クラブの再編成、統合です。少人数のクラブがこれだけ多くなった今、コミュニケーションを学ぶ場として小異を捨ててのクラブの統合とそれに伴うカウンスルの再編成が成されれば新しい活気がITCに生まれるのではないのでしょうか！

カウンスルNo.6 都クラブ会長 三村 敦子

CMTについて

カウンスルNo.5では年2回のCMTがカウンスル会合の後にあります。各クラブの役員、常任委員が研修を受けるのですが、これを見直して欲しいと思います。ほとんどの役はクラブの前任者に聞く方が〈引継ぎにより〉よくわかるし、既に同じ役をした者は希望者の参加にすればよい。不参加の時は代理を求められるがそれを頼むのも気を遣うし、実際クラブの会員数が少ないので役員も委員を兼ねていることが多い。又役目遂行上に色々経験しながらマスターしていくと思う。

こういうこともどんどん見直して「全員に一律に課す」というのを止めて、合理的に負担をなくすようにして欲しい。

カウンスルNo.5 梅田クラブ 清水 仁美

皆様の声をお待ちいたしております

知 っ 得 コ ー ナ ー

寄付・遺贈委員会 山中 恵枝

皆様から寄せられたご寄付は寄付・遺贈委員会を通して特別プロジェクトやトレーニングの整備、基金およびクラブ援助等の活動に使用されています。

特にITCマスターマニュアルの書き直しと発展には大変寄与していると報告を受けています。

ITC発展の為、皆様の任意によりなっている活動であるという趣旨をお汲み取り戴き、今年度もみなさまから暖かいご協力を賜りたいと思います。

カウンスルNo.2宝塚クラブ
20周年記念例会のご案内

日 時：2007年4月24日（火）
11：00～15：00

場 所：宝塚ホテル 1F すみれの間

プログラム：

- ・五感(官)をチョット楽しく鍛えてみませんか
～五感を総動員させて自分を知り、

他者をも知りましょう～

講師 福島 里美 氏（大学講師）

- ・懐かしのジャズ

上野山みどり 氏

会 費：未 定

カウンスルNo.8東京クラブ
30周年記念例会のご案内

日 時：2007年6月19日（火）

場 所：国際文化会館 B1 宴会場
六本木駅徒歩10分

プログラム：テーマ「友情」

「朗読とディスカッション」

会 費：10,000円

カウンスルNo.6役員交替のお知らせ

カウンスルNo.6 書記が中野知子さん（奈良クラブ）に替わりました。

編集後記

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いうしあげます。
新年早々出版しました2号には、リージョン大会のご案内とともに多く会員の方から
戴いた原稿を掲載いたしております。皆様のご意見、ご感想を是非おきかせください。

編 集 者：武内 浩子

スタッフ：播磨由美子 海老原あかね 清水 仁美

ITCを通じて出来た仲間と
作ったグループ又は同好会の
紹介をしたいと思いますので
編集までご連絡ください。

ITC日本リージョン会報 Vol.25/No.2
編集・発行：第25期 ITC日本リージョン
印刷：上野タイプ印刷(株)



ITC Pledge

ITC 宣誓

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々インターナショナル トレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

2006—2007

ITC 日本リージョン 声明文

Mission Statement of Japan Region

ITC 日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術、組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.